

平成 24 年日本熱物性学会第 3 回(2012-3)役員会議事録

日時: 平成 24 年 8 月 25 日(土) 役員会 14:00~16:30

場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者: (五十音順・敬称略) (要確認)

赤坂亮(九州産業大学)	小澤俊平(千葉工業大学)
河野正道(九州大学)	佐藤讓(東北大学)
高野孝義(豊田工業大学)	高橋一郎(山形大学)
田澤真人(産業技術総合研究所)	田中明美(日本女子大学)
東之弘(いわき明星大学)	牧野俊郎(京都大学)
宮崎康次(九州工業大学)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工業大学)	山口勉功(岩手大学)
山田修史(産業技術総合研究所)	山田純(芝浦工業大学)
山本泰之(産業技術総合研究所)	

審議事項:

佐藤会長よりご挨拶があった。山田事務局担当より、配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号: 12-4-1-役

資料 12-4-1-役、に基づき、前回議事録の確認があった。誤記を直したうえで、議事録は承認された。

(2) 覚書の一部改訂について……………資料番号: 12-4-2

山田事務局担当より、資料番号 12-4-2 に基づいて、覚書の一部改訂について説明があった。講演論文集の印刷部数などを追記した。会誌の購入希望への対応などの記述を変更した。〈8〉の支出の交通費に関する記述を整理したとのこと。法人会員の特典として、バナー広告に関する記述を載せたとのこと。〈8〉の 1. の記述について、「準備金を支給する。開催地には、できる限り赤字にならないようお願いする。」と変更するとの説明があった。説明内容は、役員会にて了承された。

(3) 会則の一部改訂案について……………資料番号: 12-4-3

山田事務局担当より、会則の一部改訂について、今回の理事会の議論で、改訂案を提出しないこととしたとの説明があった。

(4) 第 33 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号: 12-4-4

牧野氏より、資料番号 12-4-4 に基づいて、第 33 回日本熱物性シンポジウムの準備状況に関して説明があった。交通や、宿泊、参加費等の払い込み方法に関しての案内があった。

(5)総会に関する事項について………資料番号:12-4-5~8

牧野表彰委員会委員長より、資料番号 12-4-5~6 に基づいて、論文賞と奨励賞の選考の報告があった。論文賞、奨励賞の選考結果は、役員会にて了承された。功労賞、名誉員に推挙する方の略歴について説明があった。功労賞、名誉員の推挙に関する報告も、了承された。覚書の表彰委員会の記述を、表彰委員会の内部規定に則したように、修正していくとの説明があった。

山田事務局担当より、資料番号 12-4-7 に基づいて、次期役員候補者について、説明があり、判明している分の候補者に関しては、役員会にて了承された。次期会長、副会長の候補者について、説明があり、会長に長坂雄次先生、無任所の副会長に上利泰幸先生を推薦することとなった。会長に一任することとして役員会にて了承された。

山田事務局担当より、資料番号 12-4-8 に基づいて、総会議事案について説明があった。一部の誤記を修正したうえで、役員会にて了承された。

(6)第 34 回日本熱物性シンポジウム準備状況………資料番号:12-4-9

山田事務局担当より、資料番号 12-4-9 に基づいて、第 34 回日本熱物性シンポジウムの準備状況に関して説明があった。会場と、日程が決定されたとのこと。会場の仮押さえができたとのこと。実行委員のメンバーが決定したとのこと。

(7)各種委員会報告………資料番号:12-4-10編集委員会

東編集委員会委員長より、熱物性誌の編集状況の説明があった。現在 95 号で、100 号が近づいているので、企画を考えていきたいとのこと。次期の編集委員と委員長を検討しているとのこと。執筆要領をまとめて、次号に掲載できるようにしたいとのこと。

表彰委員会

牧野表彰委員会委員長より、表彰委員会の活動について報告があった。規約、内規等の整備を進めたい。次期の表彰委員会委員長は、佐藤会長にお願いすることになったとの説明があった。覚書に関して、委員会規定と整合性が取れるように修正したい。大阪のシンポジウムで、表彰に関する会合を開きたいとのこと。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料 12-4-10③に基づいて、報告があった。講演論文集をインターネット上で公開するための Web ページについて説明があった。タイトルの検索が容易になるように、タイトル一覧を公開して検索できるようにしていくとのこと。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 12-4-10-4 に基づいて、活動委員会の報告があった。プレゼンテーション賞の関連業務の資料が示された。採点者のその場で負担が多いので、採点表をより簡素にできないかとの意見が出て、検討してゆくとのことであった。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 12-4-10-5 に基づいて、広報活動について報告があった。フロントページコラムを更新したとのこと。やや、分量が重くなっていると感じた。短めになるように考えて

いる。査読規定は、過去の文書が発見されたが、古いので、改めて、タイピングし、不備があれば修正するとのこと。分科会のHPも充実するようにしていきたい。

(8)研究分科会報告……………資料番号:12-4-11

山田事務局担当より、資料番号12-4-11に基づいて、研究分科会に関して説明があった。佐藤会長より「高温融体物性と材料プロセス」に関して、報告があった。収支明細と、本年の講演会の活動予定の説明があった。

(9)事務局報告……………資料番号:12-4-12~13

山田事務局担当より、資料番号12-4-12~13に基づいて、協賛、共催、後援関係と、会員異動について説明があった。

(10)その他(予算新フォームほか)

山田事務局担当より、資料番号12-4-14に基づいて、収支予算書の科目の名称の変更に関して、前回に提示した案の計算が合わなかったので、修正したものが示された。